

2026 年 9 月 17 日

記者各位

京セラ株式会社

京セラの電子投開票システム「デジ選[®]」、 富山県舟橋村の村長選挙、村議会議員選挙に採用 ～県内初^{※1}となる電子投票を実施～

京セラ株式会社（代表取締役社長：作島 史朗、以下：京セラ）は、2026 年 10 月 18 日（日）に富山県舟橋村で実施される村長選挙および村議会議員選挙において、京セラの電子投開票システム「デジ選[®]」が導入されることとなりましたのでお知らせいたします。これらは、富山県内で初めて^{※1} 電子投票が実施される選挙となります。

本システムの導入を通じて、幅広い世代がより投票しやすい環境を整えることで、政治参画の促進や投票率の向上が期待されています。また、開票作業の効率化や従事する職員の負担軽減、無効票の削減にも貢献し、持続可能な選挙運営のモデルケースとなることを目指します。

※富山県内の地方公共団体が執行する選挙において。2026 年 8 月、京セラ調べ。



デジ選使用イメージ

■京セラの電子投開票システム「デジ選[®]」について

京セラのデジ選は、総務省の技術的条件に適合した、地方自治体の選挙で利用可能な電子投開票システムです。投票所では、設置されたタブレット端末の画面上で、有権者が候補者氏名や選択肢を確認し、直感的な操作でタッチして投票を行うことができます。投票内容はデジタル形式で記録されるため、投票終了後の迅速な集計が可能となり、開票作業の大幅な効率化や開票時間の短縮につながります。また、人件費の上昇や地域の高齢化・人手不足などを背景に、選挙運営に必要な人員の確保が課題となっている自治体において、開票作業に従事する人員を削減できるなど、人的負担の軽減と運営コストの抑制に貢献します。さらに、紙の投票用紙への記入が不要となることで、誤記や判読不能による無効票を防ぎ、民意をより正確に反映することができます。

デジ選は、選挙運営に求められる安全性・信頼性を重視して設計しています。過去の電子投票では、機器やネットワークに起因するトラブルが課題となった事例もありましたが、デジ選では、ネットワークを経由せず、投票データをタブレット端末に直接接続した記録媒体に保存する方式を採用しています。通信障害や機器の過熱による影響を抑え、安定した投票・開票環境を実現しています。

これまでデジ選は、大阪府四條畷市、宮崎県新富町、香川県善通寺市、福岡県粕屋町の選挙に導入され、開票人員や開票時間の削減に寄与してきました。今後も、選挙の信頼性・公平性の確保と、選挙運営の効率化に貢献してまいります。

(参考：宮崎県新富町における導入事例 <https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/case/case-19/>)

■富山県舟橋村での啓発活動について

本選挙の実施にあたり、舟橋村では、自治体職員や有権者を対象に、電子投票の理解促進を目的とした啓発活動を実施しています。操作方法の周知や体験機会の提供などを通じて、円滑な選挙運営に寄与してまいります。

主な取り組みは、以下のとおりです。

- ・議会議員・報道機関向け説明会の実施（6月）
- ・村内行事における電子投票体験コーナーの設置（8月）
- ・役場庁舎内におけるデモ機の常設（8月～10月）
- ・広報誌への掲載（10月号）

■電子投開票システム「デジ選[®]」の詳細はこちら

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/app-service/app/digi-sen/>

※「デジ選」は、京セラ株式会社の登録商標です。

■報道機関からのお問い合わせ

京セラ株式会社 広報室 本社 TEL:075-604-3514(直)/ 東京 TEL:03-6364-5503(直)